

令和7年度第4回福岡県男女共同参画審議会  
計画第二部会 議事録(要旨)

1 開催日時

令和8年1月9日(金) 10時00分～11時30分

2 開催形式

オンライン開催:ZOOM

3 出席者

(委員)

飯塚一朗委員、一宮仁委員、櫻たかこ委員、谷口洋子委員、榊尾美栄子委員、光安正哉委員、  
横山美栄子委員

(事務局等)

男女共同参画推進課(原口課長、田上課長補佐、神野参事補佐、福井参事補佐兼女性支援・  
保護係長)

4 議題等

(1) 第6次福岡県男女共同参画計画の考え方(答申案)について

## 5 議事内容

### (1) 第6次福岡県男女共同参画計画の考え方(答申案)について

#### 【委員】

包括的性教育についてお尋ねする。

答申案の柱3、教育について記載されているが、性教育について言及がされていない。

#### 【委員】

教育については、柱3が主であることを考えると、そこに盛り込むべきであり、人権教育という観点からも包括的性教育についても触れていただきたいと思ったので、意見としてお伝えする。

#### 【委員】

性被害がひどくなっている状況を鑑みると、特に女兒に対して自分で自分の身を守ることを教えることが本当に重要だと感じている。包括的性教育に踏み込むことは難しいとしても、そういうことも今後検討していくことが盛り込まれる、ないしは、何らか触れていく必要があると思っている。

#### 【委員】

包括的性教育という表現でなくとも、パートナーとの関係、自分の体の大切さ、リプロに対する理解なども含めたところで性教育を広く捉えていくような表現が盛り込まれれば、今後取組の幅が広がるのではないかと考えている。

例えば、柱 3 のところで、項目を一つ作っていただく形をご提案するので、ご検討よろしく願います。

#### 【委員】

成果指標について、「男性の育児休業取得率」が令和 6 年度の 49.5%に対して、令和 12 年度に 90%を達成することが目標になっているが、この数値の根拠を伺いたい。また、「保育所の利用待機児童数」の目標値が 29 人から 0 人となっている。現状、中途の入所は厳しい状況で待たざるを得ない方がたくさんいると感じているが、これについても数字の根拠を教えてください。

#### 【事務局】

育児休業取得率は、県の労働局が実施している調査を根拠としており、国の計画なども参考に目標値を設定している。

待機児童数は、市町村から報告される数が根拠。この数は、4月1日現在で計上しており、それ以降に待機児童となった方はカウントされていない。また、他に空きはあるが特定の保育園を希望し待機となっている場合なども待機児童としてカウントされない。

**【委員】**

男性 DV 加害者の再発防止のための教育について、現状の書き方では、何らかプログラムがあって、それが広がっているような受け止めになる。現状、プログラムはないと思うので、まずは県がプログラムの開発を検討するようなことを盛り込んでどうか。

**【事務局】**

全国的にはプログラムを作られている企業等もあり、県が開発するというのは難しい。

了